

事例番号 033 理想郷のまちづくり(茨城県日立市・塙山学区)

1. 背景

日立市は関東平野の北端に位置する人口 20 万人弱の、茨城県北部の中核都市である。「日立」の名は、水戸光圀がこの地方を「日の立ち昇るところ領内一」と言ったことに由来すると言われている。明治以降、日立鉱山(1905～)と日立製作所(1912～)により経済が発展した。特に 1939 年以降は両者の生産拡大により人口が著しく増加したが、太平洋戦争末期には軍需産業の拠点の一つとして爆撃、艦砲射撃、焼夷弾攻撃を受け、市街地の約 7 割が焦土となった。このような悲劇を二度と繰り返さないために、戦後 50 年にあたる 1995 年、市民の活動により「平和の鐘」が建設された。

戦後は常陸工業地帯の中心として、また、重要港湾である「日立港」を有する海上物流の拠点として経済が発展してきた。その経済の発展を背景に、1950 年に 13 万 2 千人だった人口は、1960 年に 17 万 2 千人、1970 年に 20 万 3 千人、1980 年に 21 万 5 千人と急増した(その後、1985 年の 21 万 8 千人をピークに減少に転じた)。2004 年 11 月には市の北に位置する多賀郡十王町と合併して新市に移行している。

日立市では人口急増期に宅地開発が盛んに行われたが、ここで紹介する塙山学区もそのひとつである。塙山学区は市内 23 の小学校区のひとつであるが、同学区は昭和 40 年代に入り住宅団地が開発されたことから形成された地区である(現在の住民約 8,000 人)。日立市は 1971 年から小学校区ごとにコミュニティ組織を設立してきたが、1979 年に塙山小学校が開校されたことから翌年に「塙山学区住みよいまちをつくる会」が発足した。



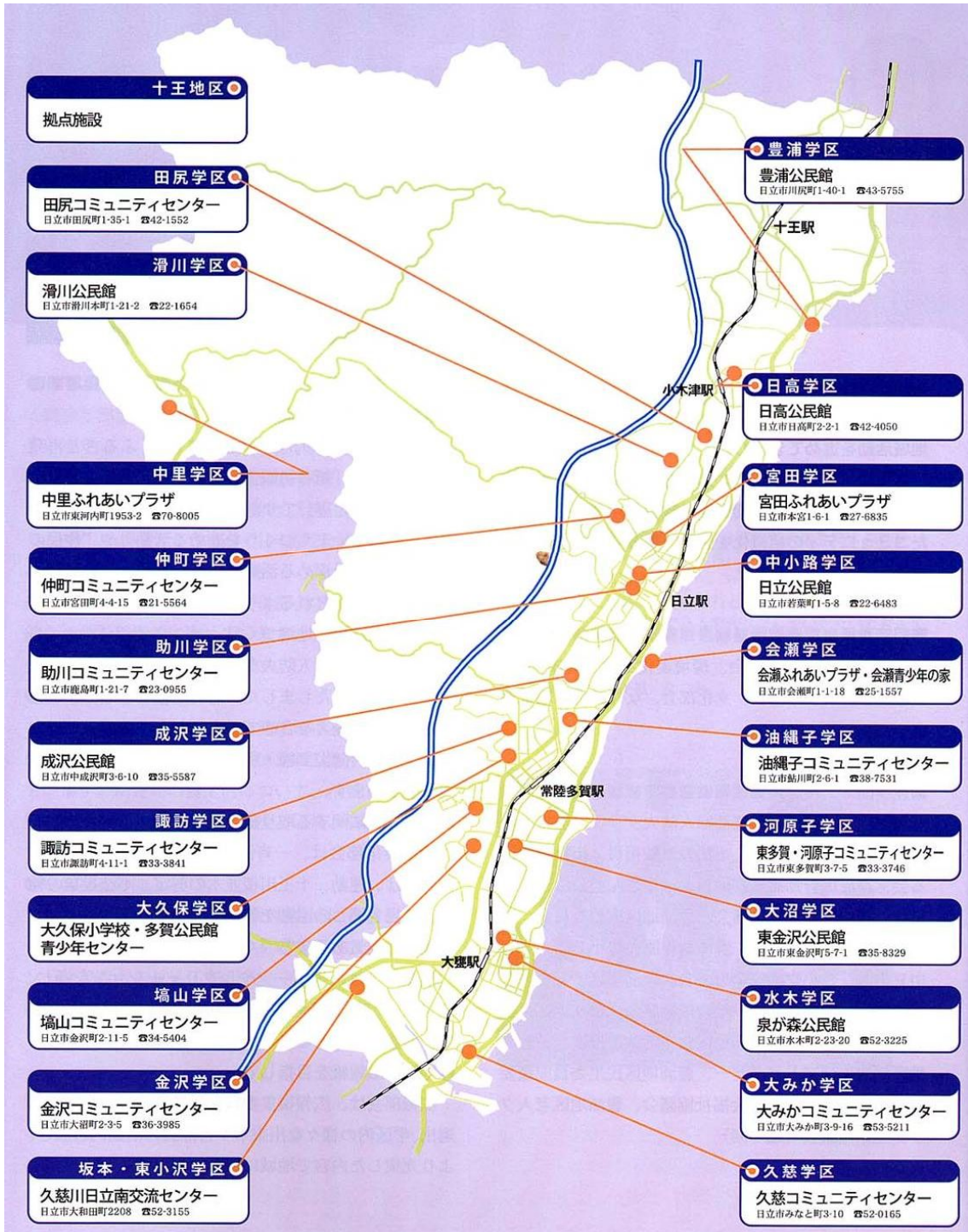
日立市位置図 (資料:日立市)

2. 目標

2006 年 3 月に策定された「日立市後期基本計画」(2006～2010 年度)では、まちづくりの目標を「地域の力で拓く 人・まち 輝く 新生日立」としている。その下で取り組む重点施策は次の 7 つである。

- ① 産業の振興 『まちの活力』 / ② 教育・文化の育成 『人づくり』
- ③ 福祉と保健・医療の充実 『健やか』 / ④ 生活環境の向上 『安全・安心・快適』

- ⑤ 都市基盤の整備『交流拡大』 / ⑥ 市民参加のまちづくり『市民主体』
- ⑦ 行財政改革の一層の推進『地域経営』



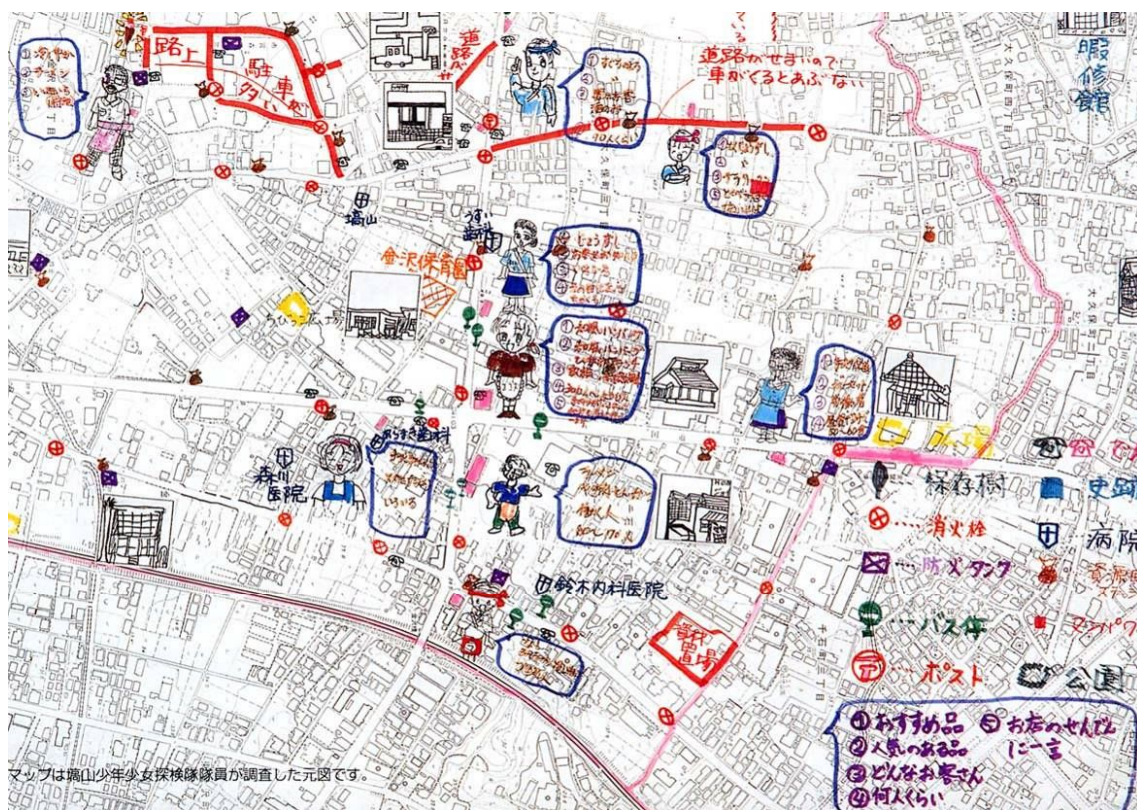
日立市の各学区の位置図 (資料: 日立市コミュニティ推進協議会)

(注) 「公民館」、「コミュニティセンター」、「ふれあいプラザ」の名称は 2006 年 4 月以降すべて「交流センター」に改称されている(久慈川日立南交流センターは従前通り)

また、日立市は現在の日立市の都市像を「創造とふれあいの都市・日立」と表現しており、「創造」「交流」「人間環境」の3つをまちづくりの理念としている。総じて日立市は「人」を視野の中心に置いたまちづくりを展開していると言える。

そのような日立市の中で、塙山学区は「住んでよかった」と思えるハナトピア(塙山理想郷)づくりを目標に掲げ、2006年度は以下の基本方針を設けている。

- ① 「だれもが安全で安心して暮らせる」まちづくり
- ② 「だれもがスポーツやレクリエーションが楽しめる」まちづくり
- ③ 「たくましい塙山っ子を育てる」まちづくり
- ④ 「花いっぱい地球にやさしい」まちづくり
- ⑤ 「地区、各種団体、学校と協働で創る」まちづくり



子どもたちが作った地図(部分) (資料:日立市塙山学区住みよいまちをつくる会)

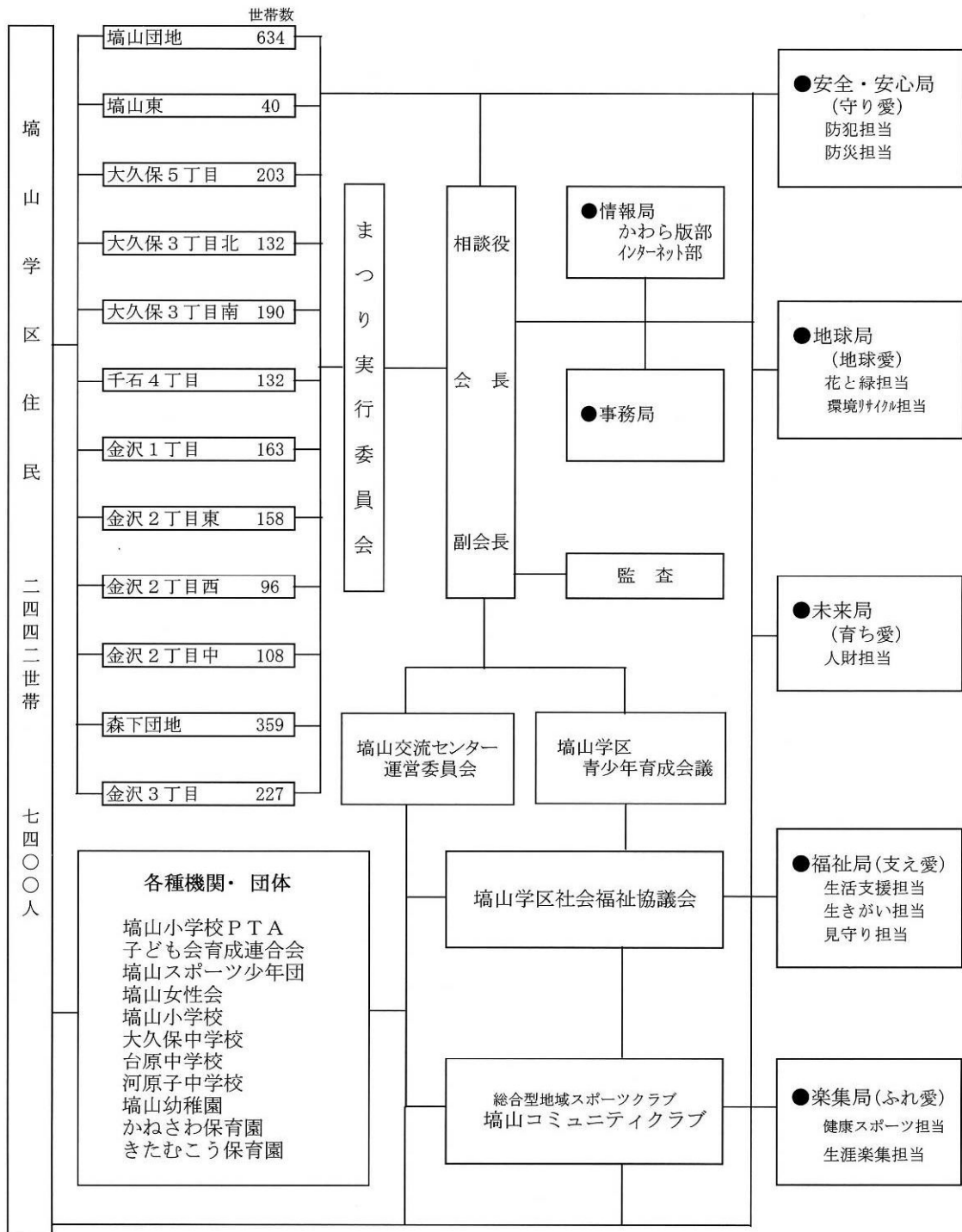


塙山の住民が作ったコミュニティ・マップ (資料：日立市塙山学区住みよいまちをつくる会)

3. 取り組みの体制

「塙山学区住みよいまちをつくる会」が中心組織である。

平成18年度 塙山学区住みよいまちをつくる会 組織図



4. 具体策

(1) 塙山コミュニティセンターの建設・運営

住民と行政とが計画段階から協議を行って 1984 年に市内第一号のコミュニティセンター(「塙山地域センター」)が建設された。施設の管理は市が住民による運営委員会に委託した(「塙山地域センター」は 1987 年に「塙山コミュニティセンター」に名称変更されている)。



塙山地区のイベントの様子 (資料:「塙山さんさん計画」)

(2) 塙山コミュニティプラン

1989年に「つくる会」が「塙山コミュニティプラン」を作成した。これは住民が独自に作成したものである。その改訂版として作成した「塙山さんさん計画」も、住民がアンケート、説明会、過去の事業評価、調整等を自主的に行って作成した(1994年)。その後「第2次さんさん計画(1999年)」、「第3次さんさん計画」(2005年)へと引き継がれている。現在のコミュニティ・プランのテーマは「支え・愛」「守り・愛」「ふれ・愛」「地球・愛」「育ち・愛」の5つの「愛」でまとめられている。

コミュニティプラン(左上)、さんさん計画(右上)、第2次計画(左下)、第3次計画(右下)

(3) 会の活動

日常的な防犯活動、地域福祉活動、青少年育成活動、環境美化活動、子供の居場所づくり、コミュニティ紙の発行等を行っているほか、2006年5月に総合型地域スポーツクラブ「塙山コミュニティクラブ」を設立した。また、以前から試行していた高齢者の移送サービス「ジャンボタクシー」を正式にスタートした。



塙山コミュニティクラブ設立記念植樹祭 常に子どもと一緒に活動している

(写真提供:塙山学区住みよいまちをつくる会)

(4) 活動資金

住民の会費のほか、地域情報紙「住みよい塙山かわら版」の広告、会主催の祭り「さんさん祭り」等の協賛金・広告等を活動資金としている(1994年にコミュニティ基金「さんさん基金」を設けている)。

5. 特徴的手法

コミュニティ・センターの開設、「コミュニティプラン」の作成など塙山がはじめたことが全市に広がった経緯から見ても、塙山の取り組みは先駆的であったことがわかる。自分たちができる範囲内の最大限の総合的なまちづくりに、組織的、機能的、科学的(事業評価等)に取り組んでいる住民組織として、全国でもまれな例ではないかと思われる。

住みよい塙山かわら版

発行 日立市塙山学区住みよいまちをつくる会
 日立市金沢町2-11-5
 塙山コミュニティセンター
 TEL 34-5404
 FAX 34-5337

美しいまちづくりのあれこれ

塙山学区では創設以来二十六年間、ごみ問題、一斉清掃、花いっぱい運動など、地球にやさしい環境に関する活動を続けています。平成十七年三月に制定された「塙山第三次さんさん計画」はなやまアクションプランにも『地球、愛』を掲げ、きれいなまち、エコロジーなまちづくりを目指しています。

区内の落書き消し作業
 二月八日(水)地球局を中心に各部リーダーが一緒になって、学区内二ヶ所の落書き消し作業を実施しました。かき落しや塗料塗りなど約二時間の作業です。しかし、区内でも、落書きのないまちづくりに、環境のテーマの一つに掲げて活動を続けています。企業も地域貢献の一環として、きれいなまちづくりを推進しています。紙は燃やさず資源回収へ
 日立市は燃えるごみ減量のため、平成十四年六月から新ごみ収集システムが導入し、ごみの分別収集の徹底と、



自分たちのまちをきれいにボランティアで美化活動
 も地域貢献の一環として、きれいなまちづくりを推進しています。紙は燃やさず資源回収へ
 日立市は燃えるごみ減量のため、平成十四年六月から新ごみ収集システムが導入し、ごみの分別収集の徹底と、

再生資源回収に力を入れています。
 燃えるごみの中には紙や布類など、まだまだ再生資源として活かせる物があるということです。しっかりと分別して、燃やさずに月一回の再生資源回収に出しましょう。
 学区毎に毎月行っている再生資源は回収量に応じて、報奨金が日立市から塙山学区に支払われます。この報奨金の約五十％を塙山創生費として、一世帯二百五十円を再生資源ステーション毎に、利用世帯分(年会費を納めた世帯)を選元すると同時に、学区全体の事業費となります。ぜひ、新聞や雑誌を毎月の再生資源回収に出すよう協力ください。



モラルが問われる不法投棄された自転車

不法投棄監視活動
 日立市内では廃棄物不法投棄監視員制度があり、塙山学区でも四名の不法投棄監視員が活動しています。
 二月十四日 お弁当を作る
 一月十日、お弁当を作る
 動物などの型抜き器で作ったおにぎりに、ミックスベジタブルで目や口を付け、カンナやタコの形に切ったウインナーや彩りのいい野菜をお弁当箱に夢中になって詰めました。最後に、ピクニックや旗飾り付けをして、かわいいお弁当が出来上がりました。

美しいまちづくりのあれこれ
 再生資源回収に力を入れています。
 燃えるごみの中には紙や布類など、まだまだ再生資源として活かせる物があるということです。しっかりと分別して、燃やさずに月一回の再生資源回収に出しましょう。
 学区毎に毎月行っている再生資源は回収量に応じて、報奨金が日立市から塙山学区に支払われます。この報奨金の約五十％を塙山創生費として、一世帯二百五十円を再生資源ステーション毎に、利用世帯分(年会費を納めた世帯)を選元すると同時に、学区全体の事業費となります。ぜひ、新聞や雑誌を毎月の再生資源回収に出すよう協力ください。

おいしい楽しいメニューがいっぱい
 二月十四日 キッドピクス
 大久保先生の指導の下、親子で向かい合ってすわり、ウオーミングアップの後、じゃんけんなどで楽しく体を動かしました。明るく、軽快な動きの先生がみんなが大好きなアプテンポの音楽に合わせて踊ると、子どもたちもリズムに乗り、上手に踊りました。

役員・部員募集
 塙山学区住みよいまちをつくる会では、平成18年度に活動できる方を募集しています。自分にできるボランティア活動をしてみませんか?
 申し込み・問い合わせ 塙山コミセン 34-5404

ハナミズキ
 イタリアのトリノで冬のオリンピックが80の国・地域から選手が集まり熱戦を繰り広げている。世界の国や地域が民族や宗教文化を超えスポーツを通して交流し合うことはたいへん意義あることであるが、一方で風刺画をめぐりイスラム圏の民族と欧米の対立や暴動は悲しいことである。もう少しお互いの違いを認め合うことが大切だと思う。
 ●最近の調査によると男性、女性にとってもおはようございますは、他のことばを引き離していても「おはようございます」があるが、家庭で夫婦や親子が、学校で先生や生徒同士が、職場や地域でお互いさりげなく交わらされてきたことが、昨年末からさきさき登校時間に交差点で立明した。「おはようございます」に対する小学生の反応はあまりよくない。学区内を大の散歩やウォーキングする人が増えてはいるが、無言で通り過ぎようとする大人が多いのも現実だ。
 ●不審者対策として多くの防犯ボランティアの協力で安全な地域をつくらうとパトロールを実施しているが、まずは、学区内の住民がさりげなく挨拶を交わすことから始めることも大事かも知れない。顔を知らない、学区内のさまざまな問題についてもみんなが話し合い、汗を流し合いながらまちづくりを楽しく進めていけば不審者や諸問題も解決するのではないだろうか。
 (副会長 伊藤智毅)

「かわら版」は塙山学区2600世帯に毎月市報と一緒に配布されます。ホームページアドレス <http://www.jsdi.or.jp/hanayama>

塙山ふくしかわら版

第95号
塙山学区ふれあいまちづくり会
福祉局
塙山学区社会福祉協議会
TEL 34-5431

ジャンボタクシーによる移送サービス開始!!

昨年度10月から3月まで、木曜サロンに参加されている方の送迎を実験的に行ってききましたが、4月から本格的に始まりました。

今後の予定は、木曜サロンの送迎と皆さんからの要望により、月1回の買い物ツアーを計画しています。買い物ツアーは、実験走行中に多くの人から、買い物するところがない、バスの本数も少なくなり、思うように外出が出来ない、荷物を持って歩くのは大変などと声が上がリ、ジャンボタクシーを実験的に走らせました。参加した皆さんからは大変喜ばれ、多くの要望に答え、月1回の買い物ツアーを予定しています。買い物の行先はそのつど、みんなで検討していきたいと思ひます。

ジャンボタクシーによる木曜サロンの送迎買い物ツアーの参加に、ご利用ください。

●問い合わせ又はジャンボタクシーの予約
34-5431

《4月～5月の木曜サロン》

- ◆ところ 塙山交流センター
- ◆とき 毎週木曜日 午前10時～
- ◆日程
4月 6日 (木) 体操サロン
4月 13日 (木) ふれあいサロン(お花見)
4月 20日 (木) 体操サロン
4月 27日 (木) 茶話会
5月 4日 (木) 休み
5月 11日 (木) 茶話会
5月 18日 (木) 体操サロン
5月 25日 (木) ふれあいサロン

毎週木曜日の午前中は、塙山交流センターのホールで、お年寄りのためのサロンが開かれています。お気軽にお出かけください。

桜のお花見においでください

日時・・・ 4月13日(木) 10時～12時

場所・・・ 塙山交流センター(塙山コミセン)中庭

会費・・・ 500円(弁当代)



「塙山ふくしかわら版」(毎月発行、70歳以上の人がいる世帯450世帯に配布)

平成18年度事業計画

福祉局 (支え愛)

生活支援担当

- (1) ジャンボタクシー事業
・木曜サロンカー(毎週木曜日 2コース) ・買い物ツアー(毎月1回)
- (2) 暮らしサポート「あんしん」事業(家事援助) (3) 配食サービス(毎週火曜日)
- (4) 高齢者・子どもの居場所づくり (5) 高齢者のニュースポーツ講座 (6) ボランティア発掘、集い
- (7) 地域福祉計画策定委員会

生きがい担当

- (1) はなやま木曜サロンの拡充
健康体操(第1・3木曜日)、茶話会(第2木曜日)、ふれあいサロン(第4木曜日)
- (2) 生き生きサロンの拡大 (3) 幼、保、小、中との連携事業

見守り担当

- (1) 高齢者や障害者の見守り体制づくり(防災訓練時のひとり暮らし高齢者避難誘導の仕組みづくり)
- (2) あんしん・安全ネットワークの拡充(「はなやま安心カード」作成)
- (3) ふくしかわら版発行・配布 (4) 福祉マップの更新

その他の事業

- (1) 募金活動への協力 (2) 研修会 (3) 敬老祭(9/18)

安全・安心局 (守り愛)

防犯担当

- (1) 防犯環境の整備(街灯、防犯灯の設置促進)
- (2) 子どもを守る(レインボーパトロール、こどもを守る110番の家の拡充)

防災担当

- (1) 防災訓練(10/1) (2) 災害時の助け合いシステム(障害者、高齢者など)
- (3) 交通安全(迷惑駐車をなくす、運転マナーの向上)

楽集局 (ふれ愛)

健康・スポーツ担当

※ 総合型地域スポーツクラブと共催

- (1) 健康づくり(健診時ベビーシッター、子どもの食育)
- (2) 体力づくり[里山ハイキング、ウォーキング教室、体力測定(6/10)、サンサンラジオ体操]
- (3) 出会いづくり(早朝ソフトボールリーグ戦、12時間ソフトボール大会)

生涯楽集担当

※ 総合型地域スポーツクラブと共催

- (1) ヤングママ子育て楽集会(第2・4火曜日 20回シリーズ)
- (2) 各種教室(ガーデニング、パソコン、料理教室) (3) おはなしひろば(毎週木曜日午後)
- (4) おとこ塾の充実、発展: 毎月第3日曜日(防犯パトロール月1回、修理公園清掃、そば打ちなど)

地球局 (地球愛)

花と緑担当

- (1) 花いっぱい運動
花の里親、花の即売、花壇づくり、一鉢運動
- (2) はなやま朝市(毎週土曜日 午前8:30~)

環境リサイクル担当

- (1) 住民のマナーアップ(犬の糞対策)
- (2) 環境美化運動；クリーン塙山デー(6/11、12/10)、落書き消し隊、不法投棄監視の活動、修理公園の清掃(各種団体との連携)、修理公園の案内板設置
- (3) ゴチャッペ市(4/29) (4) エコロジーな生活運動
- (5) 再生資源回収徹底と方法検討
- (6) 街路の清掃(里親)：塙山通り(リスタートはなやま)、はなみずき通り(女性会)

未 来 局 (育ち愛)

人 財 担 当

- (1) 一人一役運動(ボランティア発掘)
- (2) 男性の地域活動促進

情 報 局

かわら版担当

- (1) かわら版の編集(毎月20日発行) (2) 学区内掲示板整備・管理 (3) 各種広報物配送・事務
- (4) 251～300号製本 (5) 300号記念ハナミズキ集作成 (6) 各種事業の写真記録・整理
- (7) DVD作成

インターネット担当

- (1) ホームページの更新と充実 (2) メールの管理

事 務 局

- (1) 会運営事務 ①資料作成と整理 ②学校、地区、諸団体、市役所等との調整
- (2) 会議の運営 ①定期総会(4/23) ②幹事会(毎月第3水曜日) ③企画会議(毎月第1水曜日)
④各種会議(随時)
- (3) 学校支援 ①クラブ活動支援 ②総合学習支援 ③小さなふれあい展
- (4) 会計事務 ①出納管理 ②各種補助金事務 ③地区創生費事務・・・など
- (5) 軽トラック貸し出し事務 (6) 地区組織の充実、活性支援事業
- (7) 大看板の管理、看板書き講習会 (8) 視察受入れ (9) リーダー研修会

さんさんまつり実行委員会

- (1) 第25回 塙山さんさん祭り(7/22 土)

青少年育成会議

- (1) たくましい塙山っ子づくり(学校、諸団体などとの連携)
- (2) 青少年育成団体の連絡・調整と情報交換(年5回)
- (3) はなやま元気っ子事業
- (4) 子どもの地域活動促進

交流センター運営委員会

- (1) 交流センターの運営、管理に関すること
- (2) リーダー研修会(共催) (3) 利用団体連絡会調整会議(2月)
- (4) 清掃作業：交流センター周辺の除草(6/4、8/27) 年末大掃除(12/24)

塙山学区住みよいまちをつくる会

平成18年度予算

●収入の部

単位：円

項 目	予算額	備 考
1 会費	1,000,000	500円×2000世帯 涯学習事業30万、推進員36万、総会費30万
2 補助金	2,530,000	市60万、青補8万、敬老祭50万、自主防災12.5万、守る会1.5万、会食会24.5万、違反広告物撤去1.8万等
3 再生資源回収報償金	1,100,000	17年度後期分、18年度前期分
4 さんさん祭り収入金	1,100,000	祭り提灯・うちわ広告料・花火協賛金ほか
5 かわら版広告収入金	250,000	かわら版広告料
6 参加金	1,000,000	木曜サロン(37万)、ヤングママ子育て楽集会(30万)、各種教室(20万)、花の里親(8万)、ゴチャッペ市(2万)、元気っ子など
7 資料売上げ	50,000	視察資料
8 利用料	50,000	軽トラック利用料
9 繰越金	1,107,303	17年度からの繰越金
10 雑入金	72,697	広報物配布手数料寄付、利息ほか
合 計	8,260,000	

●支出の部

款	項 目	予算額	備 考
1	総務費	2,360,000	
	1 事務局費	250,000	コピー、事務用品、上質紙
	2 パソコン費	300,000	セキュリティ関係、プリンター、インク
	3 研修費	200,000	視察研修、各種研修会派遣
	4 通信費	100,000	電話代、切手代
	5 広報費	400,000	かわら版印刷代、300号記念ハナミズキ集、251～300製本、掲示板整備、写真代、DVD作成
	6 はなやま創生費	500,000	地区環境美化、再生資源ステーション管理運営
	7 環境美化費	100,000	雨水貯留槽設置補助、電動ごみ処理機購入補助、修理公園などの美化活動補助
	8 車両費	150,000	車検代、保険料、軽自動車税、ガソリン代
	9 推進員費	360,000	塙山交流センターへ(推進員)
2	事業費	5,850,000	
	1 健康スポーツ費	200,000	早朝ソフトボールリーグ戦、12時間ソフトボール大会、サンサンラジオ体操、里山ハイキング
	2 生涯楽集	350,000	ヤングママ子育て楽集会、ガーデニング、料理教室、パソコン教室、おはなしひろば、おとこ塾
	3 総スポ費	1,200,000	新たな健康・スポーツ・文化環境づくり、バスハイク、元気っ子事業、めっちゃ・楽レクなどコミュニティクラブへ繰り出し
	4 福祉費	1,300,000	木曜サロン(昼食会、花見、温泉など)、高齢者・子どもの居場所づくり、敬老祭など学区社協予算へ繰り出し
	5 花と緑費	200,000	花壇の管理(花、肥料、種等)、花の里親
	6 環境リサイクル費	100,000	クリーン塙山デー、ゴチャッペ市、落書き消し隊事業
	7 未来費	100,000	男性の地域社会参加事業
	8 まつり費	2,000,000	第25回 塙山さんさん祭り
	9 防災費	100,000	防災用品購入、防災訓練
	10 防犯費	100,000	防犯活動
	11 青少年育成費	100,000	青少年育成団体活動補助 等
	12 周年記念事業費	100,000	30周年記念積立金 (現在高 246,531円)
3	予備費	50,000	
	合 計	8,260,000	

6. 課題

財政基盤の強化と持続可能な体制づくりとが課題であると会では考えている。

(参考・引用文献)

埴山学区住みよいまちをつくる会ホームページ

国土交通省都市地域整備局都市総合事業推進室監修『「元気なまちづくり」のすすめ』ぎょうせい、
2004年